

文化財保護委員会会議

日 時 平成17年12月5日(月)13時30分

場 所 和光市役所401会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 古民家園の名称選定

(2) 古民家について

(3) その他

4 閉 会

(1) 古民家園の名称選定

(2) 古民家について

平成 1 7 年 9 月 2 2 日 (木) 土壁作り体験を実施

4 2 名が参加 (古民家サポーターの方と市民の方)

オープン後の古民家管理運営について

第 2 回の意見交換会で出された市民による運営を考えている。

1 1 月 1 5 日号広報わこうで古民家市民会議運営委員を募集。

運営委員会で利用案内を検討、決定する予定。その後は古民家での講座やイベントの企画を行う。

(3) その他

	名称	意味
1	「新倉風の里」	春のそよ風、夏のさわやかな涼しい風、秋の落ち葉舞う風、冬の木枯らし。四季折々の風が古民家を通り過ぎて行きます。私たちは風の里に立って古民家を訪れた時、遠い昔を思い郷愁に胸熱く故
2	「夢の古里」民家園	
3	「ロマンの里」民家園	
4	「ふる里和光」古民家園	
5	向坂古民館	
6	向坂古民の苑	
7	向坂古民の館 ^{ヤカタ}	
8	古民学習館	
9	向坂学習楽苑 ^{ラク}	
10	古農の家「和光園」	
11	古農の家「わこう」	
12	やまと	
13	わこう	
14	古民家民々 ^{コ ミンカ ミンミン}	
15	温故知新園 ^{オンコ チ シンエン}	
16	かやぶき民家和光園	
17	和み園 ^{ナゴ エン}	
18	爾比久良民家園 ^{ニヒク ラ}	古代の文書に見られる新倉の地名
19	にひくら民家園 (旧富岡家住宅)	
20	旧富岡家「にいくらふるさと交流館」	
21	和光市ふるさと資料館 「にいくら 暮らし古民館」	
22	和光今昔園 ^{ワコウ コンジャクエン}	
23	和光今昔館 ^{ワコウ コンジャクカン}	
24	和光今昔邸 ^{ワコウ コンジャクテイ}	
25	ふれあいの郷 ^{サト}	
26	ふれあいの里 ^{サト}	
27	今昔ふれあいの郷 ^{コンジャク サト}	
28	今昔の郷 ^{コンジャク サト}	

あらゆることが目まぐるしく変化する昨今、昔ながらの家屋で憩いの一時を過ごしませんか。訪ねてこられる方々との新しい出会いも楽しみです。

29	コンジャク サト 今昔の里	
30	ワコウ エド サト 和光江戸の郷	江戸時代の民家が和光市に復元されました。
31	エド エン 江戸ふれあい園	
32	いろいろ茶屋	
33	かやの里	
34	新倉ふるさと民家園	新倉地域に300年前に建築された歴史ある古民家を復元するので、ぜひ「新倉」の地名は入れてほしい。市の名前が大和町や和光市と移り変わっていくなかで、せめて古民家の成り立ちの起源がわかるように「新倉」の名前を冠に付けてほしい。また、和光市の住民は大部分が東京へ通勤しているサラリーマンの世帯が多いということから「ふるさと」の文字を入れることで新倉地区の昔の風景を懐かしんでいただくイメージをうえつけ、皆さんが足
35	カイコ エン 「懐古園」	
36	ワ タミ エン 和の民園	
37	わのさと古民家園	和光の「わ」、人と人の「わ」、なごみの「わ」。ただし、「和の里」のイメージから離れて、発音は平坦に。意味不明の愛称として。
38	くれぐしの郷	茅葺屋根の上の部分のつくりを「くれぐし」という
39	オンコ サト 温故の里	
40	古民家 ライフパーク	
41	「古民家ふるさと体験園」	
42	ワクラ テイ 和倉邸	和光、平和の「和」と新倉の「倉」
43	ヤマト クラ 大和の倉	以前の「大和町」と日本特有の事物「装作」である意「大和」、現在の「新倉」の「倉」と建物の「倉」を合体
44	クデン カン 「口伝館」	和光市の昔を次の世代に語り継いでいくことと、富岡家の屋号「くでん」を掛けています。
45	ニイクレキシミンソクシリウカン 「新倉歴史民族資料館」 アイシヨウウカ 愛称農家くでん」 ソク ソク (族は俗カ)	古民家園は単に見物施設でなく、当時の農家の暮らしを学習する場であると思います。どんな道具をどういう風に使ってどんな作物を収穫し、調理に至るまでにどんな手間がかかったのか等、体験することができる施設であると期待します。その中でいろいろの知識と共に子供たちの心に物を大切にすることももったいないなど、あるいはありがたい等の感謝の気持ちが芽生えるきっかけを与えてくれたなら・・・と思います。そしてこの家は、地元にくでん(漢字標記は公田・丸田等諸説ある様なのでひらがなとしたい)という屋号の家族が暮らしていたという事実、屋号も貴重な文化財なのであります。是非施設と共に屋号も残してください。事実を伝えてください。初めて接する子供たちには先ずこの名前から興味が湧いてくると思います。この農家の昔の暮らしを後世に残すこの施設は、非常に貴重な市民の財産です。その為に、寄付者の「くでん」さんには愛称として屋号の使用を是非ご承諾
46	寄り道のいえ	道行く人が足を止めていく
47	民家園かやぶきのこえ	茅葺きの屋根が目立つため

48	^{シンワ エン} 新和園	新倉の新たな和光の和をあわせたもの。民家での世代間交流の中で新しい和が生まれるというイメージで
49	^{ミン} ^{イェ} 民なの家	まさに皆の家という意味。ひらがなのままだと三谷幸喜k監督の映画のタイトルそのままになるので、民の漢字をあてた。
50	ひかりくら民家園	和光の光と新倉の倉
51	芽吹き <small>の</small> 里	
52	(旧富岡家住宅)緑の丘	まわりが緑に囲まれることを祈って…。
53	こしかけの丘	坂道の途中にあるため。また、毎日に疲れたら古民家でひと休みできる空間という意味も含め。
54	ひかりと和のある民家 ～大和庵～	小鳥がさえずり、明るい陽射し(ひかり=光)が差し込む、暖かな家族団欒という和み。そんな故郷の日常の1コマをイメージしてみました。"ひかり"と"和"は、現在の市名「和光」を意味し、その和光の古民家、つまり歴史をさかのぼり、和光市の前の町名「大和」に由来し屋号としての意味がある"庵"を配し、～大和庵～とした
55	つなぎの里	
56	つむぎの郷	
57	結いの郷富岡	
58	虹の架け橋	
59	和光村	
60	大和の里	
61	新倉園	
62	とみの丘	
63	ふれあいの丘	
64	陽の当たる坂道	
65	古の郷和光	
66	北の里山	
67	新倉富の丘	
68	古民館	
69	温故館	
70	北の丘和光館	
71	わいわい和光	
72	わくわく館	
73	北辰館富岡	
74	コミン館	
75	^{イニシエ サト} 古の里	
76	古の里わこう	
77	光の里	
78	光の里わこう	
79	^{フルサト} 古里わこう	
80	やすらぎ和光	
81	望郷の園	

82	望郷の園わこう	
83	「旧富岡共和国」	
84	「古民家の扉」	
85	「コミンカエンスストア 新倉支店」	
86	「にひくらこう見んか」	
87	「旬彩にひくら園」	
88	「歴史眼鏡」	
89	「万古民家」	
90	「古民家本店」	
91	「文化振興民家」	
92	「古民家233」	下新倉2丁目33番地から
93	「旬彩233」	